

次世代省エネ建材の実証支援事業

断熱パネルや蓄熱・窓・調湿建材等によるリフォームを支援

概要

既存住宅の省エネ改修の促進が期待される工期短縮が可能な高性能断熱材や、快適性向上にも資する蓄熱・調湿建材などの次世代省エネ建材の効果の実証を支援する制度です。

対象となる改修方法は、「外張り断熱(外断)」(外張り断熱工法等で住宅の外壁等を改修する方法)、「内張り断熱(内断)」(室内側から断熱パネルや潜熱蓄熱建材等を用いて改修する方法)、「窓断熱(窓断)」(すべての開口部を窓及び玄関ドアを用いて改修する方法)となります。

これだけお得です

(参考 2023年度)

断熱パネル等での改修 (内張り断熱)
戸建住宅・集合住宅

補助率	補助対象経費の1/2以内	
補助金の上限額	戸建住宅	200万円/戸
	集合住宅	125万円/戸
補助金の下限額	戸建住宅	20万円/戸
	集合住宅	

外張り断熱工法等での改修 (外張り断熱工法)
戸建住宅

補助率	補助対象経費の1/2以内	
補助金の上限額	400万円/戸(1~4地域) 300万円/戸(5~8地域)	

窓断熱
戸建住宅

補助率	補助対象経費の1/2以内	
補助金の上限額	150万円/戸 ※窓・玄関ドアと任意製品を併用して改修する場合は 200万円/戸	

このような事業が対象です

(参考 2023年度)

内張り断熱

<戸建住宅、集合住宅>

- ▶ 施工性を向上するため断熱材と下地材等が一体となった断熱パネルや、快適性向上にも資する潜熱蓄熱建材を用いて改修すること
- ・ 室内側から施工すること
- ・ 断熱パネルは施工範囲に居室を含むこと。その居室の床・壁・天井の少なくとも1部位について、外気に接する全面を改修すること。改修する居室等に属する収納や押入れの外気に接する床、壁、天井も施工すること
- ・ 本事業に登録された製品を導入すること
- ▶ 補助対象製品
- ・ 必須製品:断熱パネル、潜熱蓄熱建材
- ・ 任意製品:断熱材、窓(防火・防風・防犯)、防災ガラス窓、玄関ドア、調湿建材

外張り断熱

<戸建住宅>

- ▶ 外気に接する外壁すべてを外張り断熱工法等で改修すること
- ・ 既定の外皮性能を満たせば導入製品は問わない
- ・ 原則、既存構造材を撤去せずに施工すること。既存外壁の充填断熱工法による改修は認めない
- ・ 改修後、効果測定を行い報告すること
- ▶ 補助対象製品
- ・ 必須製品:断熱材(外壁)
- ・ 任意製品:断熱材(天井/床)、窓、玄関ドア、断熱パネル、潜熱蓄熱建材、調湿建材、高効率換気システム

窓断熱

<戸建住宅>

- ▶ すべての開口部を窓(防火・防風・防犯仕様)及び玄関ドアを用いて改修すること
- ・ 原則、住宅すべての窓を改修すること。300×200mm以下のガラスを用いた窓や換気目的のジャロジ一窓等は、改修を要件としない
- ▶ 補助対象製品
- ・ 必須製品:窓(防火・防風・防犯)、玄関ドア
- ・ 任意製品:断熱パネル、潜熱蓄熱建材、断熱材、調湿建材

2024年2月末時点の情報で、
内容が変更になる場合があります。

制度の
詳細一般社団法人環境共創イニシアチブ
<https://sii.or.jp/>